第2号　発行日　令和4年8月2日
青森県立弘前南高等学校サイエンス

弘前南高校 探究・SSH 通信

◇ 1学期の活動～3年次 SSH クラス～

5月26日（木）・・・科学講演会　活動場所：2体（対面；2年次 36HR）、各教室（オンライン）

全校生徒を対象に「科学講演会」を行いました。今年は、東北大学の出澤真理先生に講師をしていただき、３年ぶりに対面でも実施することができました。講演では、出澤先生が発見した「Muse細胞」について、発見の経緯を交えながら詳しく教えていただきました。Muse細胞は、体内のさまざまな組織から採取することができ、傷ついたり脱落したりした細胞に置き換わることができる「多能性幹細胞」であること、点滴で投与できること、Muse細胞を点滴投与する治験が、心筋梗塞やコロナ重症肺炎などで行われていることなど、大変興味深い内容でした。生徒は熱心にメモを取りながら講演に聴き入っていました。

講演会終了後には、SSHクラスの生徒と懇談もしていただきました。

科学講演会（２体）

教室での懇談（36HR）

6月15日（水）・・・ISE（英語による課題研究）発表会　活動場所：1体

SSH「課題研究」の集大成である、ISE発表会を行いました。今年は、次年度SSHクラスの生徒がいないため、在校生が発表会を見ることはありませんでしたが、青森県教育庁学校教育課の指導主事２名と、弘前市内の高校のALT３名に加え、３年ぶりに保護者の参観が可能となりました。

事前に行ったクラス内発表会や留学生との交流会で、英語による発表や質疑応答の確認を行い、本番では参観者にも目を配りながら、自信を持って発表していました。質疑応答につまずく場面もありましたが、「課題研究」の集大成である発表会を無事にやり遂げる事ができました。

今回の発表会の様子は、昨年度交流を行った台湾の高校生にも見てもらう予定です。

◇ 1学期の活動～1･2年次～

＜1 年次総合的な探究の時間＞ 探究活動入門

テキストを使いながら、探究のプロセス(課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現)を学びました。

2学期からは、自分たちで設定した課題についての探究を行います。

＜2年次総合的な探究の時間＞ 探究活動実践

探究すべき課題を設定する時に役立つ、さまざまな講演会等を聴講しました。

＜写真一覧＞

① 市役所講演会(5/10)

②＆③ 弘前市出前講座(6/9)

④＆⑤ 県庁講演会(6/16)

夏季休業を利用して「体験活動」を行い、その中で得た知識や疑問を掘り下げましょう。

2学期からは、体験活動や各種講演会等を通して各自で設定した「課題」を探究し、スライドにまとめます。

◇ サイエンス指導部より

海外研修の事前指導や、英語による課題研究発表会等のサイエンス関連事業でお世話になったALTのマーク先生（**ディメイヨー・マーク**）が、７月２８日にご退職なさいました。

３年間、どうもありがとうございました。